



遠3特
2378
135/

志賀貞春全連

前編三冊

三升作
美丸画

文政十稔

丁亥新板

山本榮久堂

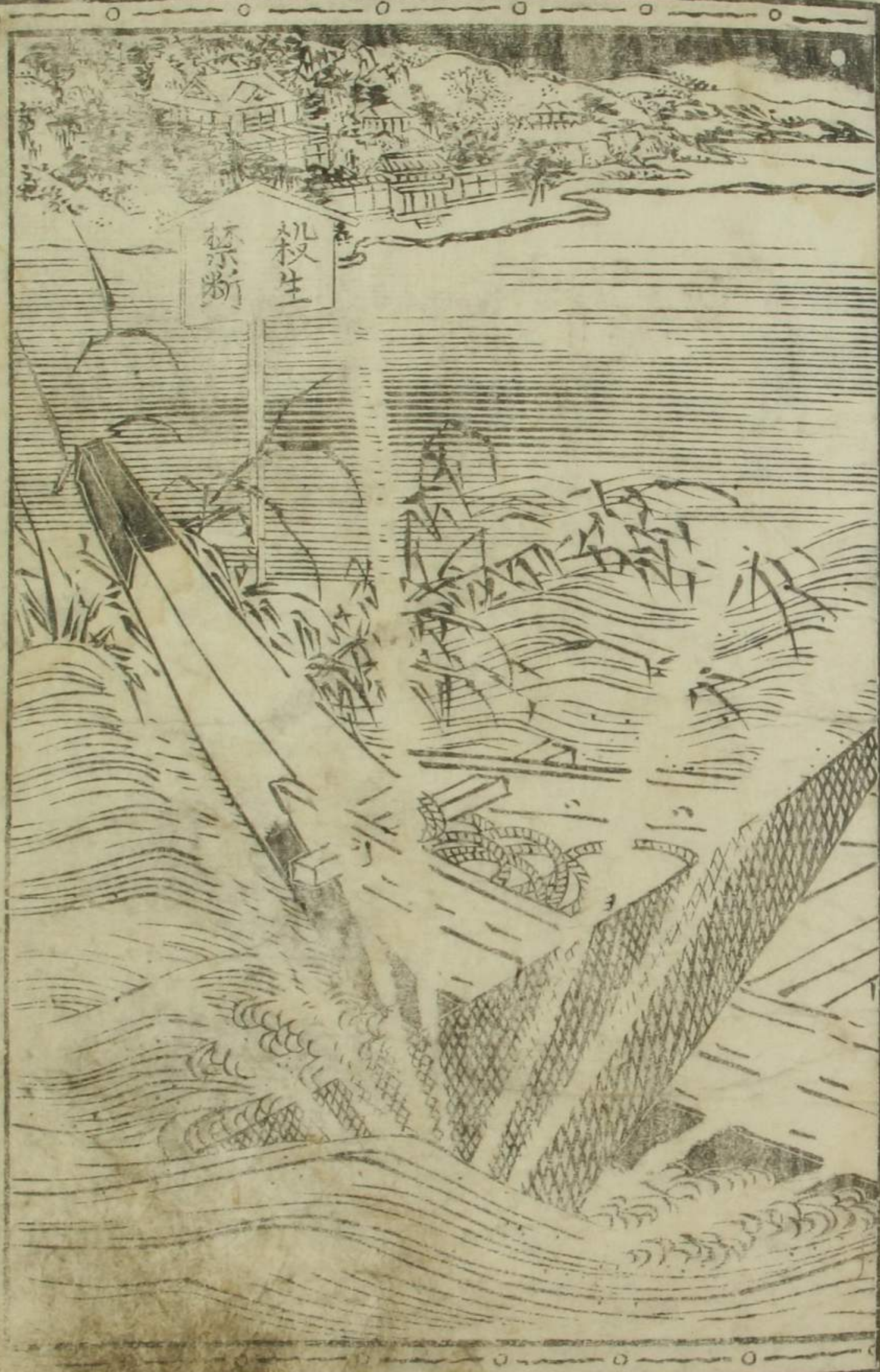


素の遠く後者の聲色ハ拙ある本戸護者なるは神佛乃綴自に
 の萬八門の恥あるを言ふべし似か合熱のイヨ成田馬を産とも身ハ
 あせは豈に物徳と心得升同は降る六十舞押の作言五八張をね
 返す言解の外洞はり合れた作者画工貫同筆その中に後者名家の
 合巻迎頂流存りてより今も二番かまた三番まで倍しておん
 優と生業ととる者のいそぎ筆親に親んや一年六稽の程言後者の
 二まあり思入は惣丹あり況産物の者速は暇あり徳徳然り因次
 得く一組二組の草紙を狂言の筋書にして尉をそら草紙るるも
 其解ハ皆名をを修る慶作もそ後名違や片云かハ病也
 其の人の名で美食客心よかやり持と作者の罪
 紙の鷹の鑑陸金定していそぎみかん書れ

文政十年亥子酉春

北化竹立文京

壹



山口県



江州
 依々木の
 家中
 錦織
 源五郎
 石山寺の
 門前東寺
 崎中湖
 よる宝釵
 得る



拾遺集
うゝ後めぐ
のそららん
あゝおひを
風千のせき
とみんあ〜ん

江洲の浪人
日吉近江之助恒世



大津
柴屋町の
遊女
景氏
江洲の浪人
近江粟津之助
平のの
小の

元亨
釋書云
石守荒痛業師石仏の尊像草紙
を研ハハハハ
声きん



ちよ
とね
南無阿彌陀仏と
夕アウ那

佐々木家の藩中
螢谷彈正

錦織源五郎が渾る

湖水の鮒
怪をる及
米屋町の商人
稲名半兵衛
後、荒痛茶師再建
の導師 宥昌法師



源次 兵衛妻 堅田
 佐々木の家中
 源五郎が父
 錦織源次兵衛

志賀春

知を承
 半兵衛言号
 源五郎妹
 うきこ
 太祇



柴屋町の娼楼
 平野屋伊八

高了死人を
 養ふらん
 おり八幡堂に
 を枕ゆて夜を
 うまくる友の
 母を石を
 合ふれはるま
 らまらま
 入るとま
 ひとせめく
 高了の
 母を五の
 友の
 加へる

志賀春

江戸川石山螢狩の圖

新古今集

あかり

よき

螢乃

のち

らん

あは

花小

主生忠見

ほる

え

や



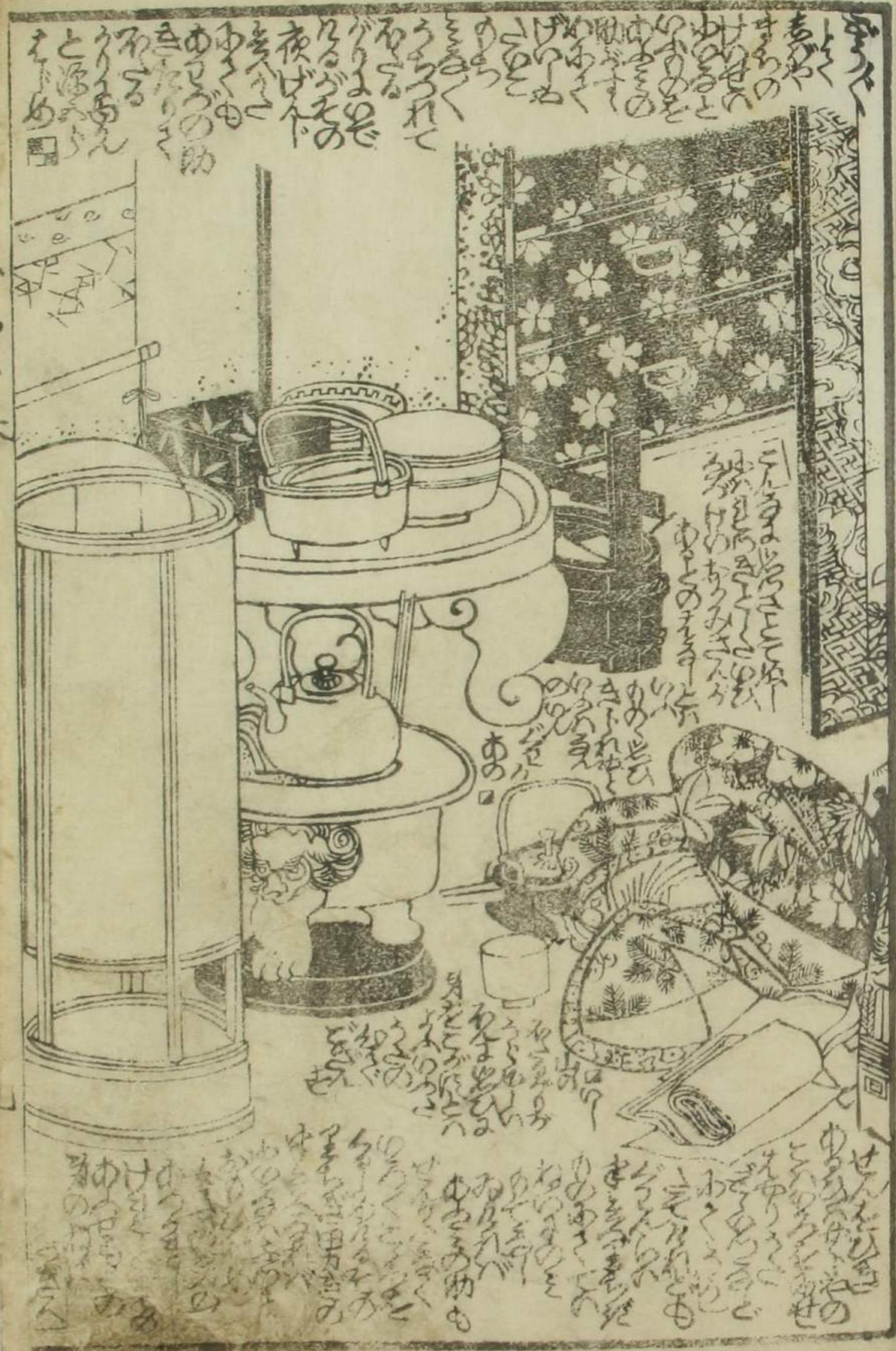
あかり

七

あかり
つ
あかり
あかり



あかり



わがやう

此巻の初めに...
 一ノ巻の...
 二ノ巻の...
 三ノ巻の...
 四ノ巻の...
 五ノ巻の...
 六ノ巻の...
 七ノ巻の...
 八ノ巻の...
 九ノ巻の...
 十ノ巻の...
 十一ノ巻の...
 十二ノ巻の...
 十三ノ巻の...
 十四ノ巻の...
 十五ノ巻の...
 十六ノ巻の...
 十七ノ巻の...
 十八ノ巻の...
 十九ノ巻の...
 二十ノ巻の...
 二十一ノ巻の...
 二十二ノ巻の...
 二十三ノ巻の...
 二十四ノ巻の...
 二十五ノ巻の...
 二十六ノ巻の...
 二十七ノ巻の...
 二十八ノ巻の...
 二十九ノ巻の...
 三十ノ巻の...
 三十一ノ巻の...
 三十二ノ巻の...
 三十三ノ巻の...
 三十四ノ巻の...
 三十五ノ巻の...
 三十六ノ巻の...
 三十七ノ巻の...
 三十八ノ巻の...
 三十九ノ巻の...
 四十ノ巻の...
 四十一ノ巻の...
 四十二ノ巻の...
 四十三ノ巻の...
 四十四ノ巻の...
 四十五ノ巻の...
 四十六ノ巻の...
 四十七ノ巻の...
 四十八ノ巻の...
 四十九ノ巻の...
 五十ノ巻の...

志賀春





浦江... (Vertical text block describing the scene, likely a narrative or commentary related to the illustration of the man in the field.)



甲の... (Vertical text block at the top of the illustration, likely a title or descriptive text.)

あつちの... (Vertical text block at the bottom of the illustration, continuing the narrative or commentary.)

志乃乃 志乃乃 志乃乃 志乃乃 志乃乃 志乃乃 志乃乃 志乃乃 志乃乃 志乃乃



國貞画

春亥

後編



送笑子
美丸
金流

文政丁亥春

三升作

後編

美丸

三冊

榮久堂板







志乃巻

おんなは
わらわちうら
うれしやく

おんなは
わらわちうら
うれしやく

おんなは
わらわちうら
うれしやく

おんなは
わらわちうら
うれしやく

おんなは
わらわちうら
うれしやく



志乃巻

おんなは
わらわちうら
うれしやく

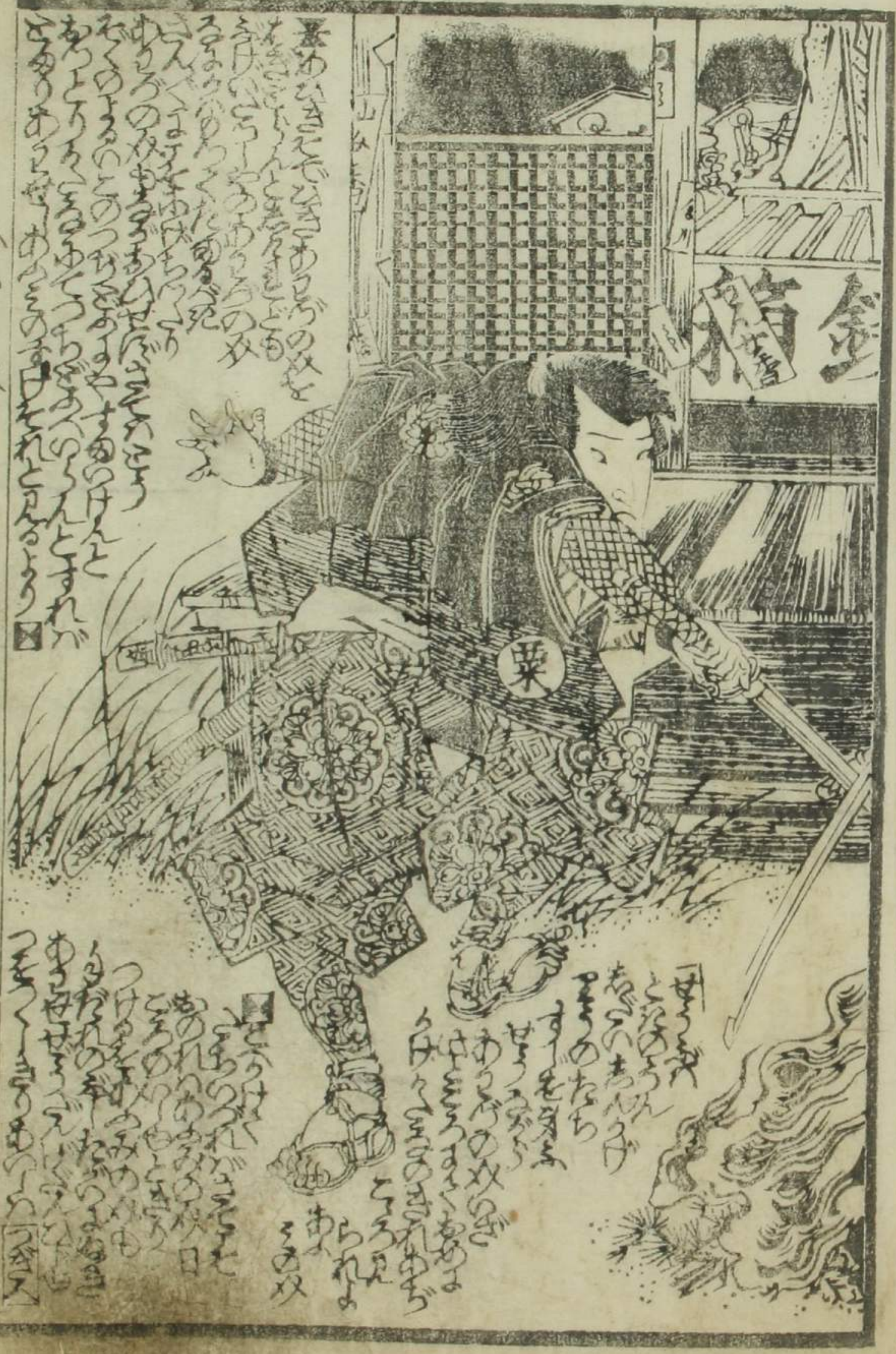
おんなは
わらわちうら
うれしやく

おんなは
わらわちうら
うれしやく

丁半の金箱を盗んで下へりては
ふよまけて大坂のひびき
きたりて大坂のひびき
とこもを盗みおろしおろし
助も山をちてひびき
ゆちちとておろしおろし
のひびきをひびき
このひびきをひびき
ささりてひびき
ささりてひびき



ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき



丁半の金箱を盗んで下へりては
ふよまけて大坂のひびき
きたりて大坂のひびき
とこもを盗みおろしおろし
助も山をちてひびき
ゆちちとておろしおろし
のひびきをひびき
このひびきをひびき
ささりてひびき
ささりてひびき

ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき
ひびきのひびき

あつたかみり... (Vertical text at the top of the right page)



あつたかみり... (Vertical text at the bottom of the right page)

あつたかみり... (Vertical text at the top of the left page)



あつたかみり... (Vertical text at the bottom of the left page)



あはれまへ
 りそ
 のよ
 のん
 だん
 さ
 のん
 ひろ
 うた
 られ
 のん
 りそ
 のん

あはれまへ
 りそ
 のよ
 のん
 だん
 さ
 のん
 ひろ
 うた
 られ
 のん
 りそ
 のん

あはれまへ
 りそ
 のよ
 のん
 だん
 さ
 のん
 ひろ
 うた
 られ
 のん
 りそ
 のん



あはれまへ
 りそ
 のよ
 のん
 だん
 さ
 のん
 ひろ
 うた
 られ
 のん
 りそ
 のん

〇 志乃 志乃がこれかきつたも
 りのわらわはこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも



〇 志乃 志乃がこれかきつたも
 りのわらわはこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも

志乃がこれかきつたも
 りのわらわはこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも

〇 志乃 志乃がこれかきつたも
 りのわらわはこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも



〇 志乃 志乃がこれかきつたも
 りのわらわはこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも

志乃がこれかきつたも
 りのわらわはこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも
 志乃がこれかきつたも
 するまゝにこれかきつたも

政十亥春 父新 版新 史目

<p>有馬 水調子 相合駕江之島詣齋 貞画</p>	<p>梅川 相合駕江之島詣齋 貞画</p>	<p>柳亭種彦作 人形筆五色絲藏 全册</p>	<p>五渡亭國貞画</p>
<p>志賀の春金汁連齋 作</p>	<p>想合對管笠齋 作</p>	<p>菊壽 童篋不孟齋 作</p>	<p>伊達姿辰巳八景齋 作</p>
<p>露路時雨 駕舟渡齋 画</p>	<p>逢見茶娘入小袖齋 画</p>	<p>山東京山作 童篋不孟齋 画</p>	<p>山本平吉藏版 山本平吉 画</p>
<p>問屋榮久堂 江戸下町山本平吉藏版</p>	<p>歌川豊國画 十返舎一九作</p>	<p>阿夏 想合對管笠齋 画</p>	<p>山本平吉 童篋不孟齋 画</p>



